



平成 18 年 11 月 20 日

各 位

所 在 地 東京都港区六本木六丁目 8 番 10 号
会 社 名 オリコン株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒
(コード番号 4800 大阪へラクレス市場)
問 い 合 わ せ 先 執行役員経理本部長 秋元孝之
T E L 03-3405-5252 (代表)

通期業績予想の修正等に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 23 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、中間連結業績予想については、従来より発表しておりませんが、前中間期実績とに差異を生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間連結業績の実績見込みについて (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:千円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前中間期 (平成 17 年 9 月) 実績 (A)	2,796,942	372,119	229,913
今中間期 (平成 18 年 9 月) 実績見込み (B)	2,779,928	△141,992	△431,748
増減額 (B-A)	△17,014	△514,111	△661,661
増減率 (%)	△0.6	—	—

2. 変動の理由

WEB メディア事業への積極的な事業転換を図るため、WEB サイト拡充に対する積極的投資を行い、独自のアフィリエイト広告モデル顧客満足度 (CS) ランキング連動型広告を実現するため、事前調査・準備にコストを必要としました。また、携帯電話向け一般サイト開設に伴うコストも発生いたしました。さらに PC 向け音楽配信事業については、費用が嵩み、上半期において 137,000 千円の営業損失を発生させました。以上の理由を主な要因として経常損失は 141,992 千円となり、前中間期比で 514,111 千円の減少となりました。

また、PC 向け音楽配信サービスを終了することによる事業撤退損失等の特別損失 312,932 千円を計上したこと等により、当期純損失は 431,748 千円となり、前中間期比で 661,661 千円の減少となりました。

3. 平成 19 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：千円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 5 月 23 日発表)	7,440,000	650,000	420,000
今回修正予想 (B)	6,500,000	80,000	△310,000
増減額 (B-A)	△940,000	△570,000	△730,000
増減率 (％)	△12.6	△87.7	—
前期（平成 18 年 3 月期）実績	5,693,662	590,204	272,828

※当社は個別の業績予想を開示しておりません。

4. 修正の理由

当期において、当社グループはコンテンツプロバイドビジネスから、WEB メディア事業への事業展開を積極的に行っております。このような状況下、以下の要因により連結業績予想数値の修正を行います。

① 売上高

メディア事業の中の音楽ディストリビューションは、期初計画においては売上高 2,430,000 千円を計画していましたが、期初の予想を下回る見込みであります。当該事業の売上高予想を 1,490,000 千円へと修正したことを主な理由として、連結業績の売上高予想を 7,440,000 千円から 6,500,000 千円へと修正いたします。

音楽ディストリビューションの未達の理由は以下のとおりです。

当該ビジネスは、着メロ、着うた、着うたフル、並びに PC 向け音楽配信から構成されております。着信メロディは期初の計画通りに推移できております。しかしながら、着うた、着うたフルの配信ビジネスにつきましては、競合他社が多く、原価率も高く、マーケット全体も伸び悩む中、継続的な成長は難しいと判断いたしました。従って、事業としての優先順位を下げ、経営資源を WEB メディア事業へと集中させたことも一因として、期初 1,100,000 千円と見込んでいた計画を 290,000 千円へと修正いたしました（差額△810,000 千円）。

なお、他の事業（メディア事業の中の WEB メディア事業、雑誌・情報事業、並びにデータベース事業、フランクリン・ミント事業）は、ほぼ期初計画通りに進捗しております。

② 経常利益

WEB メディア事業ならびに音楽ディストリビューションの利益予想の修正を行うことを主な理由として、連結経常利益予想を 650,000 千円から 80,000 千円（差額△570,000 千円）へ修正いたします。

	期初予想事業利益	今回の修正利益	差額
WEB メディア事業	684,000 千円	353,000 千円	△331,000 千円
音楽ディストリビューション	224,000 千円	△16,000 千円	△240,000 千円

WEBメディア事業におきましては、売上高は期初計画を上回る予想を立てておりますが、これは、本日スタートしたEコマースビジネスの売上高を290,000千円見込んでいるためであります。利益率の高いWEB広告売上は期初予想1,190,000千円に対し、今回1,000,000千円へと修正いたしました。また、期初には予想していなかったCSランキングのジャンル拡充を前倒しで実施することとしたため、CSランキング調査費、サーバー、回線等への設備投資の増加、人件費、採用費などが追加発生しました。以上の結果、331,000千円の期初予想との乖離が発生しました。

音楽ディストリビューションにおきまして売上高の修正の欄で申し上げたとおりです。

③当期純利益

上述の経常利益減少要因に加え、PC向け音楽配信サービスを終了することに伴う事業撤退損失等を特別損失として計上したことにより△310,000千円へと修正させていただきます。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上